【配布先】
・山形県政記者クラブ
・新潟県政記者クラブ
・新潟県新県政記者クラブ

北陸地方整備局
飯豊山系砂防事務所

記 者 発 表 資 料	
発表日	令和4年8月26日
取 扱	本資料配付をもって解禁

砂防堰堤が土石流からの被害を防止しました

～令和４年８月３日からの大雨による施設効果事例（第２報）～

令和4年8月3日から4日にかけて、飯豊山系砂防事務所管内では記録的な大雨を記録しました。各流域で土石流等が発生しましたが、砂防堰堤が土砂及び流木を捕捉し、下流への被害を未然に防止し効果を発揮しました。

下鍬江沢砂防堰堤群（新潟県胎内市、岩船郡関川村）

【問い合わせ先】
国土交通省　北陸地方整備局　飯豊山系砂防事務所
Tel：0238-62-2566（代）
副所長（技）　越野　正史　（こしの　まさふみ）
調査課長　　梅田　ハルミ（うめた　はるみ）

飯豊山系砂防事務所 HP

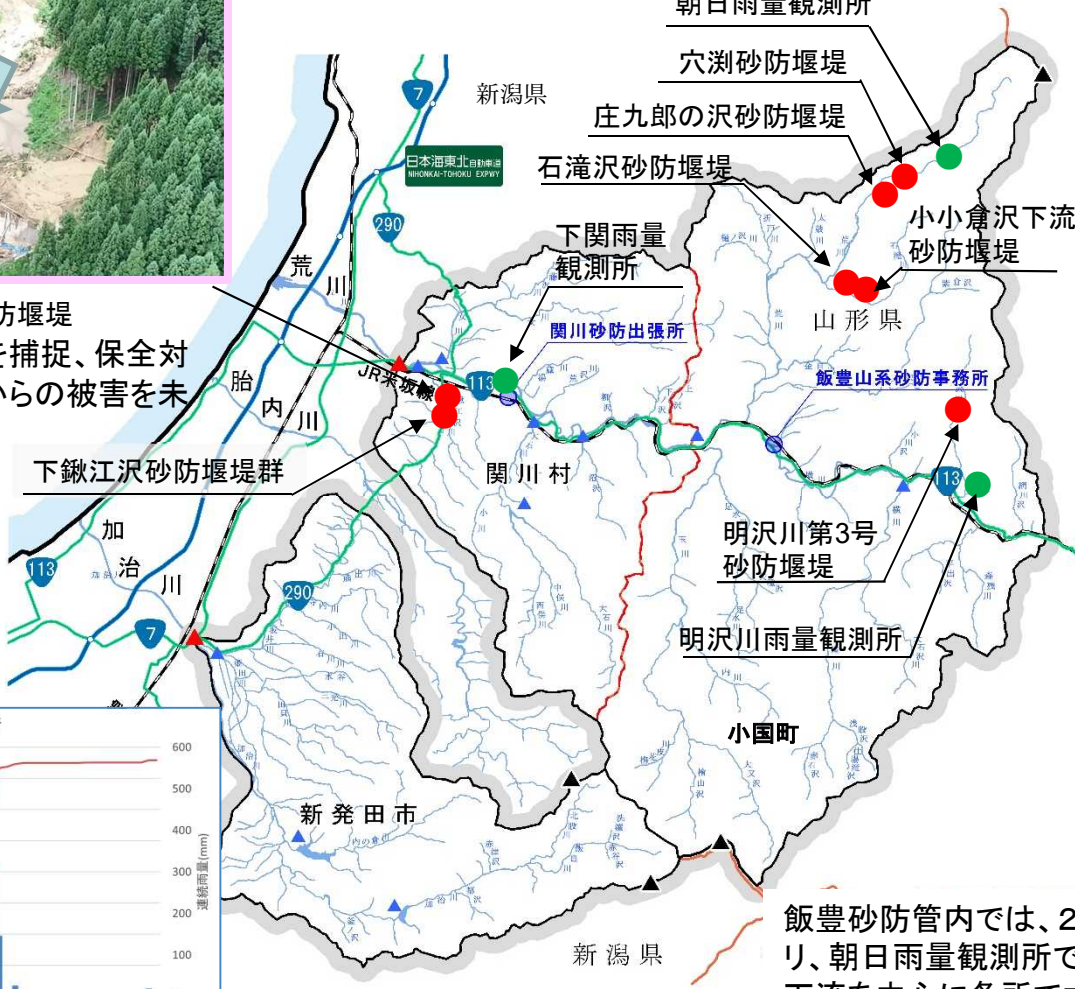
※本資料は事務所ホームページ（http://www.hrr.mlit.jp/iide/）で、被災状況を UAV で撮影した動画は事務所 Twitter（https://twitter.com/mlit_iidesabo）でご覧いただけます。

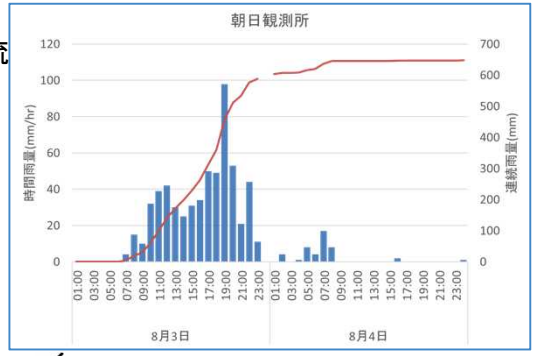
令和4年8月3日からの大雨による砂防堰堤の施設効果事例

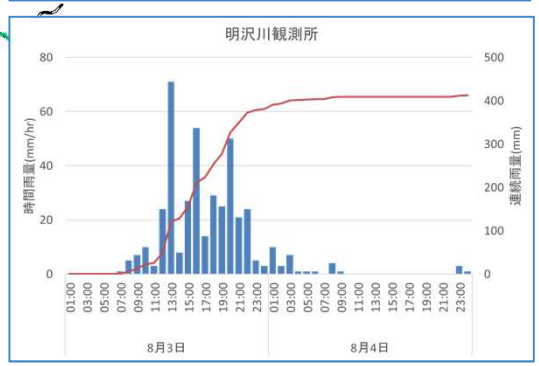
国土交通省

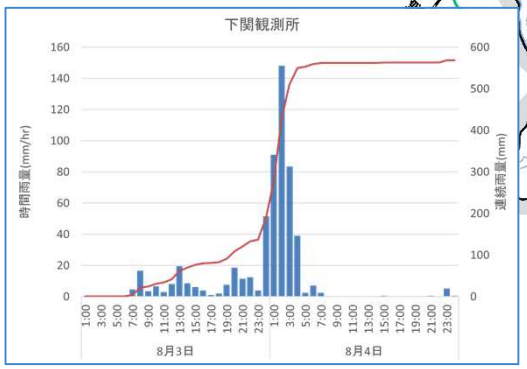
令和4年8月3日から4日にかけて、飯豊山系砂防事務所管内では記録的な大雨を記録しました。各流域で土石流等が発生しましたが、砂防堰堤が土砂及び流木を捕捉し、下流への被害を未然に防止し効果を発揮しました。

下土沢砂防堰堤
約6,000m3の土砂を捕捉、保全対象に対する土石流からの被害を未然に防止。









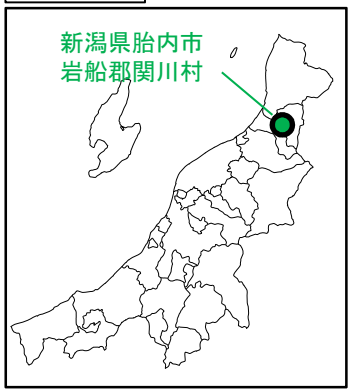
飯豊砂防管内では、2日間雨量で下関雨量観測所が562ミリ、朝日雨量観測所で633ミリを記録するなど、荒川本川上下流を中心に各所で大雨となりました。

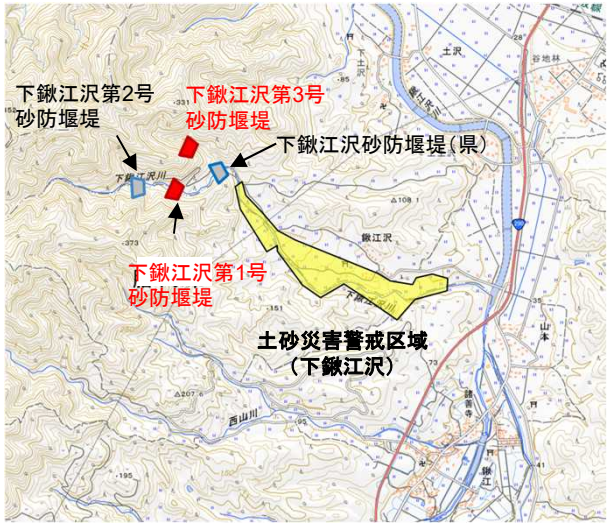
【施設効果事例】下鍬江沢砂防堰堤群（新潟県胎内市、岩船郡関川村）

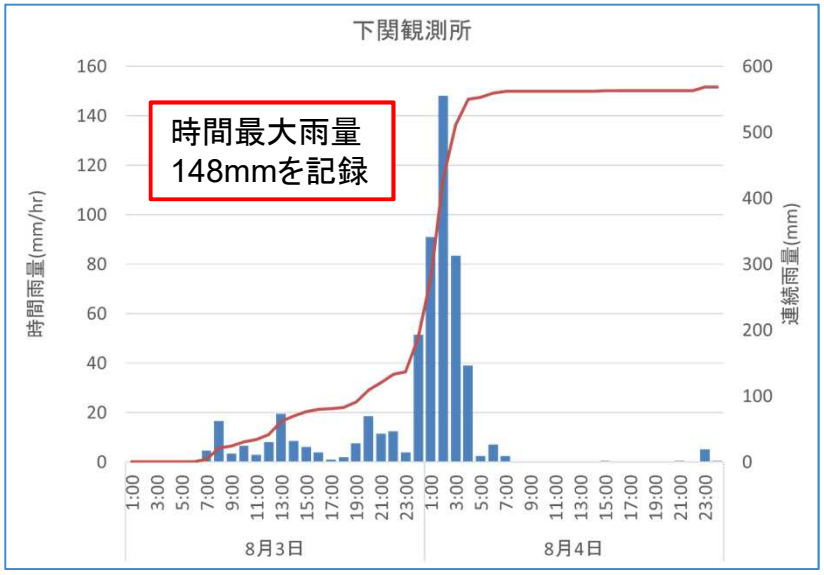
国土交通省

災害発生日：令和4年8月4日（調査中）
降雨状況　：連続雨量562.0mm（8月3日1時～4日10時）
　　時間最大雨量　148mm(8月4日1時～2時)
　　※下関雨量観測所
発生箇所　：新潟県胎内市鍬江、岩船郡関川村鍬江沢
崩壊状況　：土石流捕捉量　約10,300m3（調査中）
　　下鍬江沢第1号砂防堰堤：　約3,600m3
　　下鍬江沢第3号砂防堰堤：　約6,700m3
状　　況　：8月3日から4日にかけての大雨により土石流が 発生したが、飯豊山系砂防事務所による 砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。下流の保全対象への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図







令和4年8月3日から4日にかけて、総降水量562.0ミリ、1時間降水量148ミリを観測するなど、降雨量では昭和42年の羽越災害に匹敵する記録的な大雨となりました。

全景

【施設効果事例】下鍬江沢砂防堰堤群（新潟県胎内市、岩船郡関川村）

国土交通省

土石流発生前　(R2.10)

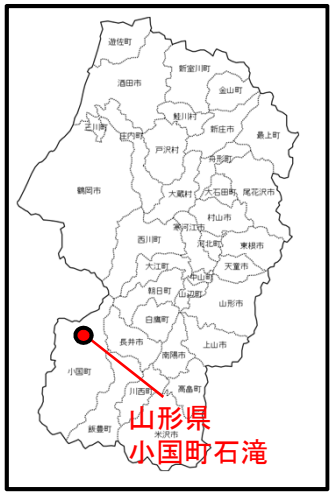
土石流発生直後 (R4.8.15)

【施設効果事例】小小倉沢下流砂防堰堤（山形県西置賜郡小国町）

国土交通省

災害発生日：令和４年８月３日
降雨状況　：連続雨量　549mm（8月3日7時～4日8時）
　　時間最大雨量　68mm（8月3日17時～18時）
　　※三体山雨量観測所
発生箇所　：山形県西置賜郡小国町石滝
崩壊状況　：土石流捕捉量　約300m3
状　　況　：8月3日から4日にかけての大雨により土石流が発生したが、飯豊山系砂防事務所による砂防堰堤が整備されており土砂を捕捉。
　　下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図



全景

土石流発生前
(R3.10.26)

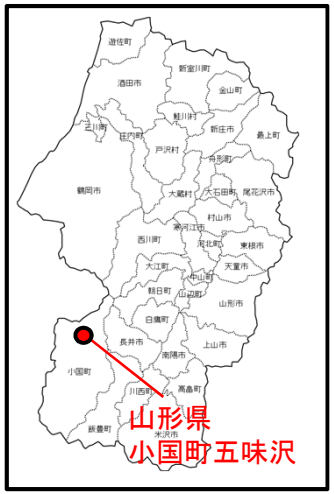
土石流発生直後
(R4.8.10)

【施設効果事例】庄九郎の沢砂防堰堤（山形県西置賜郡小国町）

国土交通省

災害発生日：令和４年８月３日
降雨状況　：連続雨量　437mm（8月3日7時～4日8時）
　　時間最大雨量　55mm（8月3日15時～16時）
　　※出戸雨量観測所
発生箇所　：山形県西置賜郡小国町五味沢
崩壊状況　：土石流捕捉量　約2,100m3
状　　況　：8月3日から4日にかけての大雨により土石流が発生したが、飯豊山系砂防事務所による砂防堰堤が整備されており土砂を捕捉。
　　下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図



全景

土石流発生前
(R3.10.25)

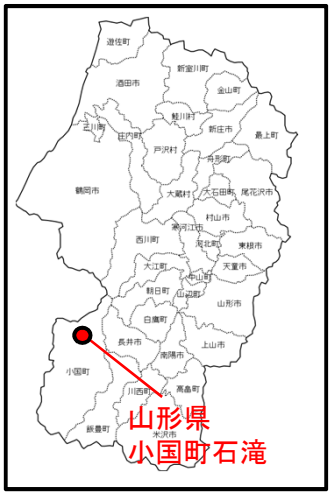
土石流発生直後
(R4.8.9)

【施設効果事例】石滝沢砂防堰堤（山形県西置賜郡小国町）

国土交通省

災害発生日：令和４年８月３日
降雨状況　：連続雨量　549㎜（8月3日7時～4日8時）
　　時間最大雨量　68㎜(8月3日17時～18時)
　　※三体山雨量観測所
発生箇所　：山形県西置賜郡小国町石滝
崩壊状況　：土石流捕捉量　約1,260m3
状　　況　：8月3日から4日にかけての大雨により土石流が発生したが、飯豊山系砂防事務所による砂防堰堤が整備されており土砂を捕捉。
　　下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図



全景

土石流発生前
(R3.10.26)

砂防堰堤の諸元
堤長　L=38.0m
堤高　H=6.5m
完成　平成7年

土石流発生直後
(R4.8.10)

【施設効果事例】穴渕砂防堰堤（山形県西置賜郡小国町）

国土交通省

災害発生日：令和４年８月３日
降雨状況　：連続雨量　633mm（8月3日7時～4日8時）
　　時間最大雨量　98mm（8月3日18時～19時）
　　※朝日雨量観測所（8月3日23時～4日1時欠測）
発生箇所　：山形県西置賜郡小国町五味沢
崩壊状況　：流木捕捉量　約450m3
状　　況　：8月3日から4日にかけての大雨により多量の流木が発生したが、飯豊山系砂防事務所が設置した流木対策施設により流木を補足した。また6月27日の大雨でも流木を補足するなど下流の保全対象である町道や集落への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図

全景

R4.6.26

R4.7.1（令和4年6月27日の出水後）

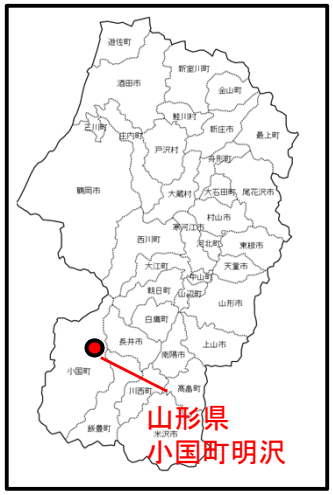
R4.8.6

【施設効果事例】 明沢川第３号砂防堰堤（山形県西置賜郡小国町明沢）

国土交通省

災害発生日：　令和4年8月3日（調査中）
降雨状況　：　連続雨量　409mm（8月3日7時～4日9時）
　　時間最大雨量　71mm（8月3日12時～13時）
　　※明沢川雨量観測所
発生箇所　：　山形県西置賜郡小国町明沢
崩壊状況　：　土石流捕捉量　約5万m3（調査中）
状　　況　：　8月3日から4日にかけての大雨により土石流が発生したが、飯豊山系砂防事務所による砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。下流地区にある国道113号・JR米坂線等の重要交通網への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図



土石流発生前
(R3.6.3)

土石流発生直後
(R4.8.5)